

おがまち日奈久ニュース

新春を駆ける 第54回校区交流駅伝競走大会

主催 日奈久住民自治会

主管 日奈久スポーツ協会



抜けるような青空、無風の絶好の駅伝日和に恵まれ、第54回校区交流駅伝競走大会が、1月1日（木）に日奈久小・中運動場をスタート、ゴールとして7区間で開催されました。本年は参加5チームで競技されました。順位が目まぐるしく変わる展開で応援にも力が入りました。

結果は、次の通りです。

- 1位新田町、2位山下町・竹之内町、3位塩北町・新開町、4位大坪町、5位東町・浜町・上西町
- 区間賞は、次の通り。（敬称略）
- 1区福田琥太郎（山下・竹之内）、2区向尾陽菜（塩北・新開）、3区北園快生翔（新田）、4区谷口權斗



区間賞の皆さん前列右から1区～4区後列右から5区～7区



優勝した新田チーム

きれいに整備された会場を準備し、後片付けを含め大会関係者の皆様お疲れ様でした。元日から力走した選手の皆様も大変お疲れ様でした。

令和8年2月号
(第198号)
発行者
日奈久住民自治会

日奈久の人口
(12月末現在)
男 993人
女 1,191人
計 2,184人
(前月比-11人)
(2009年未3,444人)

お知らせ

【卓球大会】

主管 日奈久スポーツ協会

日時 2月1日（日）

集合13時30分 開始14時

場所 日奈久小学校体育館

たくさんの方の応援お待ちしております。

【日奈久小祭りここの声】

日時 2月7日（土）

午前10時～午後3時

場所 ゆめ倉庫&レンガ広場

主催者 白石真由美、原田麻衣

主な内容 環境に優しい野菜と米粉のおやつ、仕事学びのワークショップ等

2月の行事から

- 1日（日）卓球大会
 - 6日（金）日奈久中立志式
 - 7日（土）日奈久小祭りここの声
 - 8日（日）衆議院選挙
 - 11日（水）建国記念の日、津森小遭難の碑広場餅投げ
 - 12日（木）いきいきサロン研修会
 - 23日（月）天皇誕生日
 - 28日（土）ひなぐ雛祭り竹灯り
- 〈会議等〉
- 13日（金）市政協力員例会
 - 16日（月）運営委員会
 - 18日（水）広報部会

◆主な内容 ステージ発表

日舞やレクダンス、合唱、お楽しみ抽選会、ポップコーン無料配付などがあります。キッチンカーも大集合。お楽しみに。

住民自治会運営委員会から

1月15日（木）開催の運営委員会から、記事に掲載しなかった主な事項をお伝えします。

○事務局
・各部会の決算報告書は、3月25日までの分を報告書にまとめ、3月27日までに事務局に提出ください。

読者の広場

日奈久再興を冷静に考える

竹原町 吉川丈晴

日奈久の再興について私案を示したところ、有難いコメントをいただいた。その際に知人の言葉を改めて思い出した。その知人は大阪出身の土木系コンサルタントで、地方の「町興し」に関わった方で、十数年前、日奈久での「町興し」集会に関心を持って参加した。その時の感想が「地域全体で一体となって盛り上げようという雰囲気よりも、各自が自らの利益に終始し、全体としてのまとまりを感じられなかった」と語っていた。

もちろん、それから十数年が経過し、日奈久を取り巻く状況は変化しているだろう。しかし、どれほど魅力的な解決策や優れたアイデアがあっても、それを束ねるリーダーと、支えるグループが存在しなければ、地域としての「まとまり」は生まれな

い。

この点は、今も変わらぬ本質的な課題だと感じている。日奈久の地域有志の事を詳しく把握していないが、それでも、日奈久温泉神社で音楽会を企画する人、地域振興に地道に取り組む人、古着店を開き賑わいの回復を目指す人、等々、志を持って行動している人々が確実に存在している事も承知している。「町興し」や「地域再生」は突き詰めれば、「そこで暮らすために経済が循環する社会」を創る事に行き着く。そのためには、外部から訪れた人が地域内で消費し、そのお金が日奈久の中で回り続ける仕組みを構築しなければならぬ。旅館や商店街の経営者が連携し、人を呼び込み、訪問者に地域でお金を使ってもらおうという方向性が明確にならないければ、持続的な発展は望めない。

私自身、日奈久が好きで、2000円を握って「松の湯」に足を運ぶ。湯上がりには日奈久珈琲店でカフェ・モカで一息つき、また体を温める。この「まったり」した時間は、何にも代えがたい贅沢である。日奈久には「松の湯」だけでなく、多くの魅

力的な温泉がある。この心地よさを、八代市外の人々にも広く知ってもらい、日奈久の幸福を共有したいと強く思っている。

黒川温泉では、かつて旅館経営者たちが強い危機感を共有し、団結したことで、現在の姿を築き上げた。では、日奈久はどうかだろうか。旅館の数は決して多くはなくなってしまうが、「誰が主体となって地域を牽引し、地域活動に関わる人々がどのように役割を分担していくのか！」が、今、問われている。

地域再生の最終的な目的は、地域を活性化させ、経済を回す事にある。域外から入ってきたお金を地域内でどのように循環させ、その恩恵を誰が、どのように受け取るのか。この整理こそが、今後の日奈久再興における最大の課題であり、避けて通れない論点だと考えている。



昨年のくまモン雛

今年も雛飾りやくまモン雛が日奈久に春を呼びます。ゆつくり巡って日奈久の春をお楽しみください。

【雛飾り展示】
おりや、各温泉旅館、ばんぺい湯、日奈久ゆめ倉庫、日奈久温泉駅

【くまモン雛】
温泉街21体のくまモンが、お雛様やお内裏様になってお出迎え

第17回「ひなぐ雛祭り」

2月14日（土）

3月8日（日）に開催

主催 日奈久住民自治会

主管 企画イベント部会

日時 3月1日（日）午後4時～

場所 日奈久ゆめ倉庫 入場無料

【竹灯り（小雨決行）】

日時 2月28日（土）

3月1日（日）

午後6時～午後10時

場所 ばんぺいゆめ神社

（金渡橋駐車場）

1日は、ちんわんがやって来ます。そがみまさんのミニコンサートがあります。（午後6時～）

【キッチンカー大集合】

日時 3月1日（日）

午前10時～午後2時

場所 日奈久ゆめ倉庫駐車場

『やつしろ』のお雛祭り関連行事

【スタンプリール】

場所 日奈久ゆめ倉庫

ばんぺい湯 日奈久温泉駅

※詳しくはパンフレットを参照

竹原町にお住まいの吉川丈晴氏は、フェイスブックで「やつしろ魅力・情報発信」～八代再考 快刀乱麻～と題してメッセージを発信されています。

